

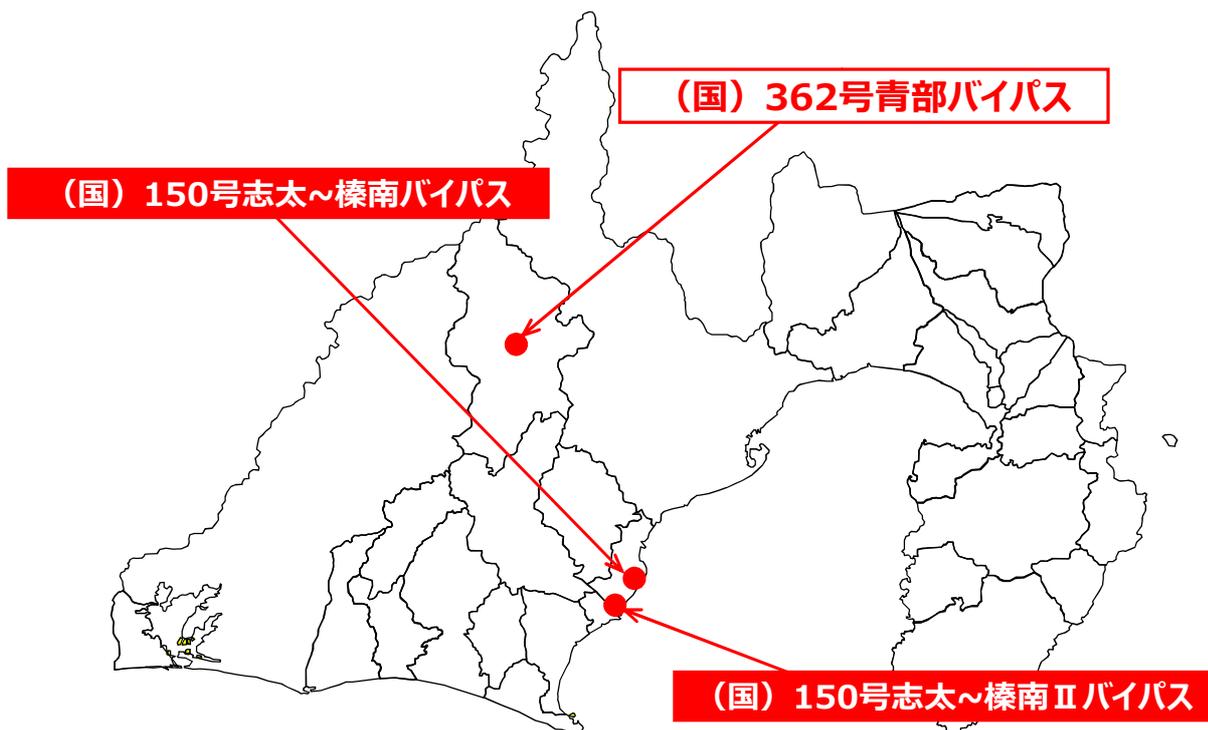
# 令和4年度 公共事業事後評価

道路事業：3事業

| 番号 | 事業名    | 箇所名                                       | 代表事業 |
|----|--------|---|------|
| 4  | 道路改築事業 | いっばんこくどう ごう しだ はいなん<br>一般国道150号志太～榛南バイパス  | ○    |
| 5  | 道路改築事業 | いっばんこくどう ごう しだ はいなん<br>一般国道150号志太～榛南Ⅱバイパス | ○    |
| 6  | 道路改築事業 | いっばんこくどう あおべ<br>一般国道362号青部バイパス            |      |

交通基盤部 道路局 道路整備課

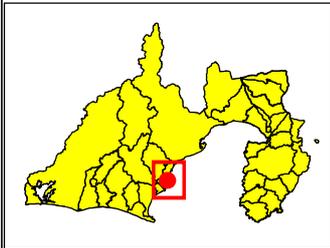
# 令和4年度 公共事業事後評価



# 事業箇所位置図 (詳細)



志太～榛南バイパス整備後



# 事業概要 (国)150号志太～榛南バイパス

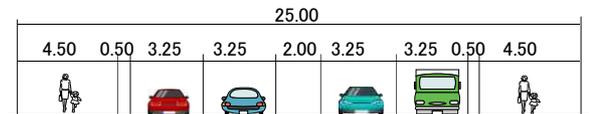
## 平面図



## 現況写真



## 標準横断面図



## 【事業概要】

- ・事業期間:平成16年度～平成30年度
- ・事業延長:3,300m
- ・道路幅員:車道13.0(全幅25.0)m
- ・車線数:4車線
- ・全体事業費:68億円

## ■前回からの変更点・理由

|        | 前回       | 事後                     | 主な変更理由             |
|--------|----------|------------------------|--------------------|
| ①計画期間  | H16～H30  | H16～H30<br>(変更なし)      | -                  |
| ②全体事業費 | 7,000百万円 | 6,828百万円<br>(172百万円減少) | ・建設発生土の他工事への流用による。 |

# 事業概要 (国)150号志太~榛南Ⅱバイパス

## 平面図



## 現況写真



## 標準横断面図



## 【事業概要】

- ・事業期間：平成19年度～平成29年度
- ・事業延長：1,200m
- ・道路幅員：車道6.5(全幅12.5)m
- ・車線数：暫定2車線(4車線)
- ・全体事業費：31億円

## ■前回からの変更点・理由

|        | 前回       | 事後                     | 主な変更理由             |
|--------|----------|------------------------|--------------------|
| ①計画期間  | H19～H30  | H19～H29<br>(1年短縮)      | ・補正予算の活用による。       |
| ②全体事業費 | 3,300百万円 | 3,147百万円<br>(153百万円減少) | ・建設発生土の他工事への流用による。 |

# 事業効果の発現の状況 (渋滞の緩和)

- ・本バイパスや周辺道路の整備により、道路交通ネットワークが構築されたことから、現道交通の分散が図られ、渋滞が緩和した。
- ・事業着手時には渋滞対策推進協議会における主要渋滞箇所が国道150号現道区間に4箇所存在していたが、現在2箇所が解消。

## 主要な渋滞箇所

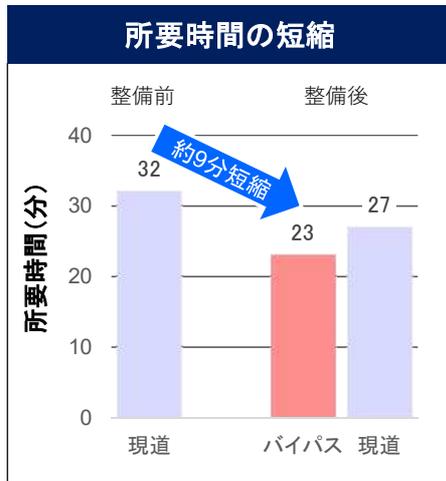


## 現道渋滞状況(整備前)



# 事業効果の発現の状況（交通の円滑化）

- ・本バイパスの整備により、焼津市三和～牧之原市細江間の所要時間の短縮が図られた。
- ・また、現道についても交通分散が図られたことにより、走行速度が向上した。

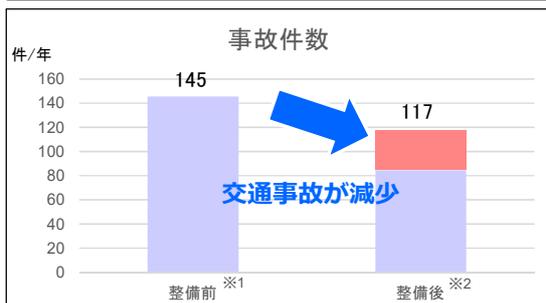
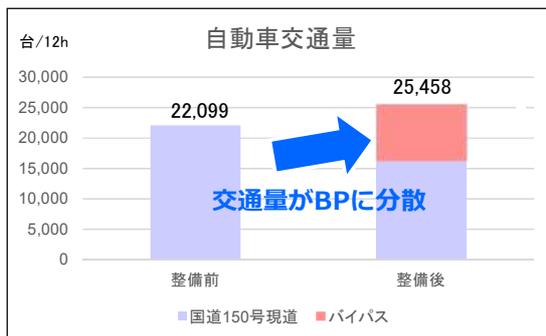


※所要時間  
 整備前：H27道路交通センサス  
 混雑時旅行速度  
 整備後：R4.5.10 17時～19時走行記録  
 ※上り・下りの平均走行時間



# 事業効果の発現の状況（交通事故の減少）

バイパス整備による現道交通の分散により、事故件数が減少した。



※1 H25～H29の5か年平均 ※2 R1～R2の2か年平均



# 事業効果の発現の状況（産業活動への寄与）

- ・本バイパスや周辺道路の整備に合わせ、企業の立地が進んでおり、既存企業の工場の増設なども行われている。



## 対応方針（案）

### (1) 対応方針(案)

**事業効果は十分に発現しており改善措置の必要はない。**

- ・本バイパスの整備や周辺道路の整備による交通の分散により、渋滞が緩和された。
- ・現道の交通量がバイパスに分散したことにより安全性が向上し、交通事故が減少した。
- ・周辺の企業立地が進んでおり、産業の活性化に寄与している。

### (2) 今後の課題・対応

- ・国道150号バイパスの未整備区間の道路整備を引き続き着実に進め、地域内交通や産業交通、観光交通等のネットワークの強化を図る。
- ・周辺地域の利便性向上等、整備後に現れた効果について、情報発信に取り組む。

### (3) 同種事業への反映等

- ・本事業では整備の進捗に合わせ交差点間でバイパスを部分供用させるなど、事業効果を早期発現に努める取り組みを行った。
- ・今後、同種事業においても、早期に事業効果が発現出来るよう、部分供用など効率的な事業執行に取り組んでいく。